

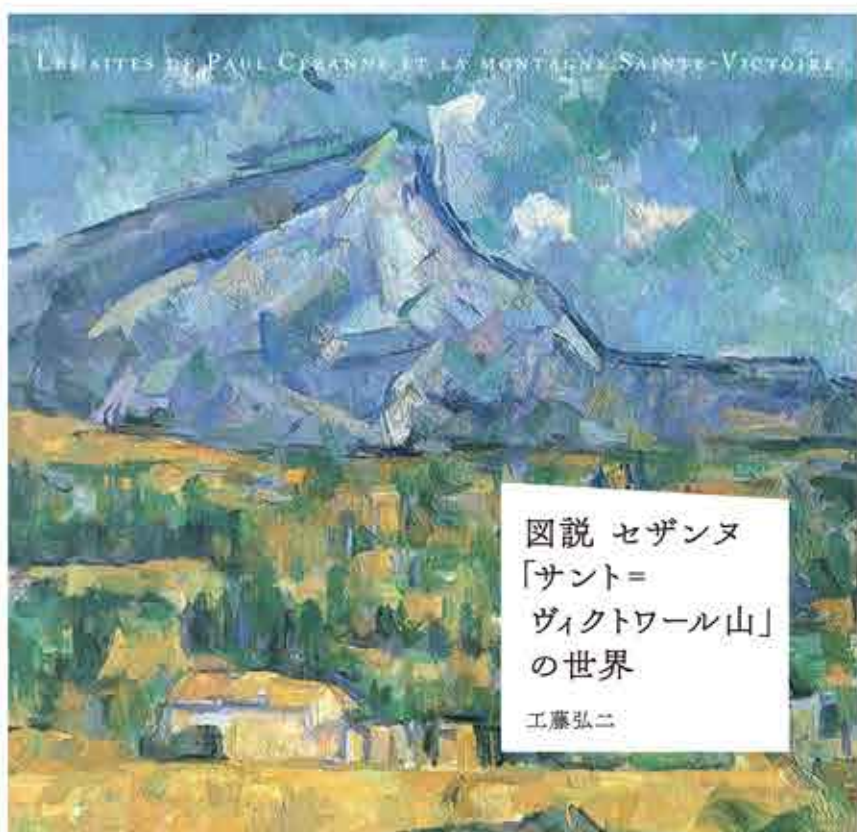
図説 セザンヌ 「サント=ヴィクトワール山」の世界

LES SITES DE PAUL CÉZANNE ET LA MONTAGNE SAINTE-VICTOIRE

工藤弘二 著 ポーラ美術館学芸員

知られざる水彩画を含む
「サント=ヴィクトワール山」
全83点を収録！

孤高の画家が描き続けた故郷の象徴、
「サント=ヴィクトワール山」の
軌跡をたどる



図説 セザンヌ
「サント=
ヴィクトワール山」
の世界
工藤弘二

セザンヌは
唯一の師だよ。
皆の父のような
存在だった。
——ピカソ

故郷のプロヴァンスと芸術の中心地パリ——
“近代絵画の父”セザンヌは、なぜフランスの南北を往復し続け、
繰り返し「サント=ヴィクトワール山」を描いたのか？
「描かれた場所」からその全貌を解説する初の一冊。

知られざる水彩画を含む《サント=ヴィクトワール山》
全83点を完全収録！ 創元社

2022年
8月
刊行予定

シリーズ好評既刊！

『図説 モネ「睡蓮」の世界』安井裕雄 著

すべての「睡蓮」を集めた永久保存版資料。全308作品、完全収録！

創元社



本書の特長

「サント=ヴィクトワール山」の歩みと制作の背景、見どころを徹底解説。

活動拠点となったパリとプロヴァンスの風景画39点もクローズアップ。

水彩画を含む「サント=ヴィクトワール山」全83点を収録した永久保存的資料。



※書影、ページ見本、目次は制作中のため変更される場合があります。ご了承ください。

目次

CHAPITRE I

パリ

——画家になることを夢見て、芸術の都へ

CHAPITRE II

プロヴァンス

——強烈な陽光の下に生まれた新たな創造性

CHAPITRE III

サント=ヴィクトワール山

——郷土を象徴する「聖なる勝利の山」

〈コラム〉 川を描く／湖を描く／海を描く／岩を描く／
ジョアシャン・ガスケが見たセザンヌ／セザンヌとルノ
ワール／想像上のサント=ヴィクトワール山 ほか

工藤弘二 (くどうこうじ)

東北大学文学研究科博士課程単位取得退学。国立新美術館アソシエイトフェローを経て、現在、ポーラ美術館学芸員。担当した展覧会に「セザンヌーパリとプロヴァンス」（2012年、国立新美術館）、「セザンヌー近代絵画の父になるまで」（2015年、ポーラ美術館）、「モネとマチスーもうひとつの楽園」（2020年、ポーラ美術館）、共著に『セザンヌー近代絵画の父とは何か?』（2019年、三元社）など。

創元社 <https://www.sogensha.co.jp/>

本社 〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6

TEL 06-6231-9010(代) FAX 06-6233-3111

東京支店 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-2 田辺ビル
TEL 03-6811-0662(代)

キリトリ

創元社申込書 この注文書にて最寄りの書店へお申し込みください。書店ご不便の場合は直送もいたします(送料無料)。			
図説 セザンヌ「サント=ヴィクトワール山」の世界 工藤弘二〔著〕		定価3,960円(本体3,600円)⑩ ISBN 978-4-422-71028-0	冊 申し込みます
図説 モネ「睡蓮」の世界 安井裕雄〔著〕		定価3,740円(本体3,400円)⑩ ISBN 978-4-422-71019-8	冊 申し込みます
ご住所	〒 -		
お名前	フリガナ	TEL () -	